

都道府県名：岐阜県 団体名：生命の水と森の活動センター

地域

揖斐川町は、岐阜県の最西部に位置し、町の南西部から北西部にかけて標高1,000mを超える山々がそびえ、その山間を縫うように木曾三川の1つである揖斐川をはじめいくつかの川が流れています。また町の南東部は、濃尾平野の最北端に位置する平坦地となっており、市街地および田園地帯となっていて、約2万人の町民が生活をしています。

当センターは、その揖斐川の源流域にあり、豊かな山々に囲まれ、四季折々の美しい景色が楽しめます。また、4キロ上流には日本最大の総貯水量と堤体積を誇る徳山ダムがあり、揖斐川を洪水から守り支えています。

経緯

平成20年4月、揖斐川源流域の環境保全と活用を目的として、「生命の水と森の活動センター」が発足し、令和5年4月には、揖斐川町の組織となりました。昨年度は小学校や各種団体等が約75団体、2,800人ほどが利用しました。

功績内容

地元の小中高生や流域住民の方々が参加する植樹活動や、水源地域の環境を活用した体験学習プログラムの実施に加え、活動センターが主体となって徳山ダムの施設案内を実施するなど、水資源の保全や啓発活動に尽力しています。

植樹活動



地元小中学生による実のなる木を育てる「苗木のホームステイ活動」



地元高校生や流域住民が参加する「実のなる木を植えよう大作戦」

体験プログラム



揖斐川源流での親水体験



森林の違いを見つける登山体験



木の堅さやにおいを感じる丸太切り大会



間伐材を使用した箸づくり

ダムの学習



日本一の堤体積と貯水量を誇る徳山ダムの案内



ダム堤体の大きさを実感し、構造を知るダム登坂体験